
デマンドタクシー実証運行事業 検証結果(案) 【概要版】



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と
世界三大波瀾のまち

1. 事業概要

■ 事業概要

JR留萌本線の廃止に伴い、JRが運行していた時間帯のうち、既存のバス路線が運行していない早朝及び夜間時間帯において、代替交通手段として、通学をはじめとする地域住民の移動機会を確保することを目的として、デマンド型乗合タクシーによる実証運行を実施する。



<デマンドタクシー車両>

■ 事業目的

目的①

市外学校への通学手段の確保

目的②

早朝及び夜間時間帯における移動需要の実態把握

■ 事業内容

区分	内容
実証実験期間	朝 令和5年度～令和6年度 夜 令和5年度～令和7年度
運行事業者	小鳩交通(株)留萌営業所
運行区間	沿岸バス留萌駅バス前待合所～深川駅
運行日	平日 (R7から長期休業期間も運行)
運賃	片道 1,300円

1. 事業概要

■ 運行ダイヤ

(1) 上り(留萌発→深川着)

区分	R5~R6		R7	
	留萌発	深川着	留萌発	深川着
早朝便①	5:54	6:44		
早朝便②	6:59	7:49		
早朝便			6:25	7:15
夜間便	19:10	20:00	19:10	20:00

(2) 下り(深川発→留萌着)

区分	R5~R6		R7	
	深川発	留萌着	深川発	留萌着
早朝便	7:50	8:40	7:15	8:05
夜間便	20:10	21:00	20:10	21:00

■ 通学利用者

通学先	R5	R6	R7	R8(見込み)
旭川永嶺高校	1名	1名	0名	0名
深川市立高等看護学院	4名	4名	1名	0名
深川クラーク記念国際高等学校	1名	1名	1名	0名
拓殖大学北海道短期大学	1名	1名	1名	0名
計	7名	7名	3名	0名

2. 利用実績

乗車実績(学生)

区分		ダイヤ	R5	R6	R7 (12月)
上り	早朝便①	5:54	141人	49人	
	早朝便②	6:59	133人	144人	
	早朝便 (R7~)	6:25			1人
	夜間便	19:10	0人	0人	0人
上り 小計			274人	193人	1人
下り	早朝便 (~R7)	7:50	0人	0人	
	早朝便 (R7~)	7:15			0人
	夜間便	20:10	93人	25人	5人
	下り 小計			93人	25人
合計			367人	218人	6人

乗車実績(一般)

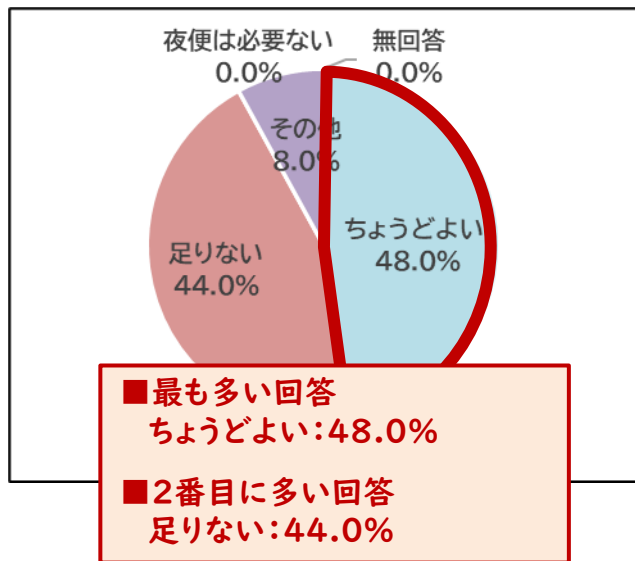
区分		ダイヤ	R5	R6	R7 (12月)
上り	早朝便①	5:54	58人	82人	
	早朝便②	6:59	24人	34人	
	早朝便 (R7~)	6:25			69人
	夜間便	19:10	17人	44人	17人
上り 小計			99人	160人	86人
下り	早朝便 (~R7)	7:50	39人	41人	
	早朝便 (R7~)	7:15			3人
	夜間便	20:10	28人	63人	24人
	下り 小計			67人	104人
合計			166人	264人	113人

3. 利用者アンケート結果

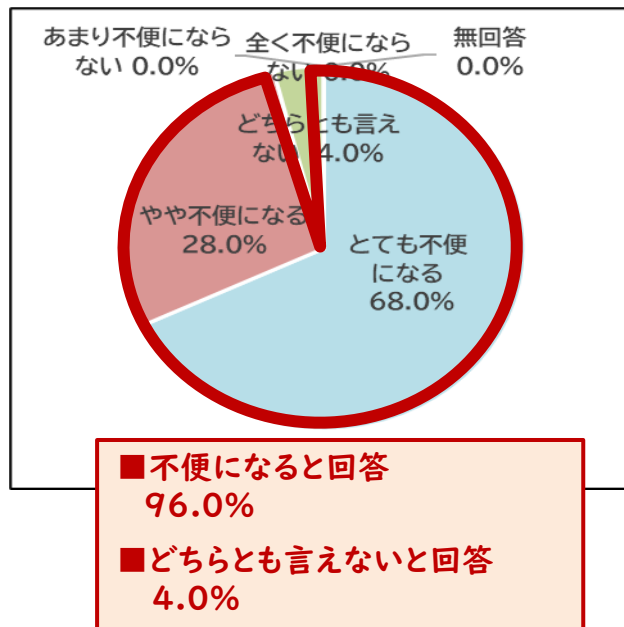
【対象者】 デマンドタクシー一般利用者、通学利用者
【実施期間】 令和7年9月16日(火)～令和7年11月14日(金)
【回収結果】 一般利用者:25件 通学利用者:2件/3件(回収率66.7%)

■ 主な回答

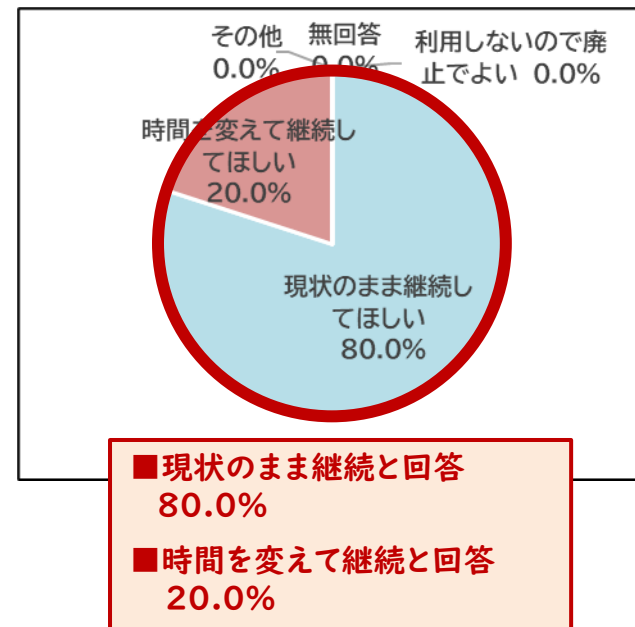
Q 夜便の運行便数についてどう思いますか。



Q 今後、夜便がなくなった場合、不便になると感じますか。



Q 夜便の今後の運行について教えてください。



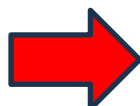
■ 主な自由記載

- ・留萌行きは札幌からの最終の特急に接続するようになれば使える。
- ・土日に利用できるとうれしい。
- ・便数を増やして欲しい。
- ・せめてもう1時間でも遅い便。

4. 検証結果・課題

検証項目①

市外学校への通学手段
の確保

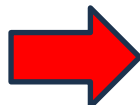


検証結果①

利用実績から、既存公共交通機関では対応が困難な時間帯を補完する機能を果たしていた。
一方、令和8年度以降は通学利用予定者が存在しないことから、今後は通学利用に限定した評価ではなく、一般利用者を含めた代替交通としての有効性を総合的に検証する必要がある。

検証項目②

早朝及び夜間時間帯に
おける移動需要の実態



検証結果②

利用実績から、早朝・夜間時間帯には通院や通勤等を中心とした一定の移動需要が存在することが明らかとなった。
一方、ダイヤ変更が利用動向に与える影響について、検証する必要がある。

課題

- ① 乗降場所の設定の在り方
- ② 運行ダイヤの見直し